

アカデミー（松本一成代表）は、2月2日午後2時から、大阪市東淀川区の新大阪丸ビル新館で保険代理店「経営革新セミナー」を開催した。テーマは、時代の激流に巻き込まれないために『保険代理店の戦わない経営戦略セミナー』というもの。同セミナーは、参加者30名という限定で東京・名古屋・大阪の3か所で開催された。（関連記事既報1月18日付1面）

同アカデミーは、リスクマネジメント、マーケティング、システムの3テーマのもとに保険代理店の経営を革新していくこと、株日本リスク総研（松本一成社長）、㈱ブレインマーケス（安東邦彦社長）、㈱カブト（行木隆社長）、青山リスマネジメント（佐野友映社長）の各トップが集まつて結成したもの。

最初に松本代表が登壇し保険業界の現状を述べた後、「閉塞感が漂う業界をなんとか活性化したい」という想いと、業界のステータスを上げていきたいという想いで立ち上げた。名称のとおり、これは業界団体ではなく皆さんは自身が先生であり生徒なん自身が先生であり生徒という文字通りの学校である。お互いが持っている能力、知識、経験を活かして相乗効果をもたらし、お互いが持っている課題を共有化し解決していく、そういう業界全体のレベルを上げていける場にアカデミーがなれば良いと思っている」と同アカデミーを立ち上げた趣旨を説明するとともに、「今回のテーマについて」「『戦わない経営』と

経営戦略セミナー

経営革新アカデミー

東京・名古屋・大阪で開催



セミナーの様子（大阪会場）

いうのは、代理店同士の漬し合いや代理店と保険会社が仲違いしている場合ではなく、セミナーのなかで提示する3つの経営力により、みんなでお客様の方を向いてしっかりと仕事をして業界を盛り上げていき、それそれが持っている目標をみんなで支援しながら達成していきたいという意味」とその内容を説明しセミナーに移った。

第一部では「時代を乗り切るために求められる保険代理店像とは」のテーマで「経営革新モデル（あるべき姿の実現）」を提示、第二部では、保険代理店が「戦わない経営」を実現する3つの経営力、リスクマネジメント、マーケティング、システムを使って保険代理店に求められる付加価値や提案力、経営資源の活用、ブランドづくりなどについてパネルディスカッションを行った。

最後に経営革新アカデミーのメンバーになる場合の条件や特典について説明があり、午後5時過ぎ終了した。